

診療価格算定時の留意事項1: 倍数算定と原価要素

(注) 本頁は、「原価増加分」(倍数算定を行う範囲)のみを対象とした資料

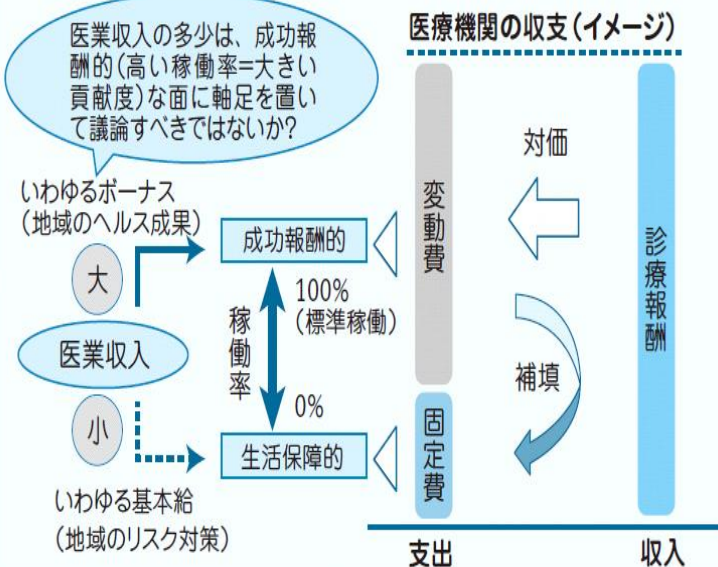
➤ 固定費(医療職種、施設機器等)の取扱いが重要である⇒訪日外国人の予定外費用として

➤ 倍数算定による設定が、極端に過大・過小にならないよう、仕組みの整理が重要である

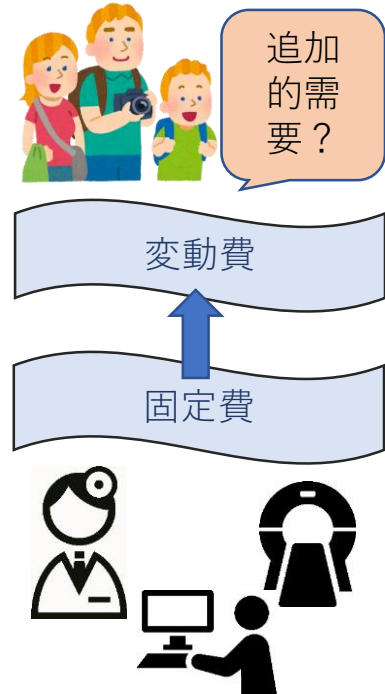
【論点】通常の診療体制に対して、追加需要となる訪日外国人の原価は、固定費も変動費として捉えるべきではないか(例: 医師・事務の超過的勤務の人件費)

【論点】診療価格の大きいケースを中心に、訪日外国人の診療の影響を受けない原価要素も、倍数算定で大きく振れることが無いよう、算定範囲を限定すべきか

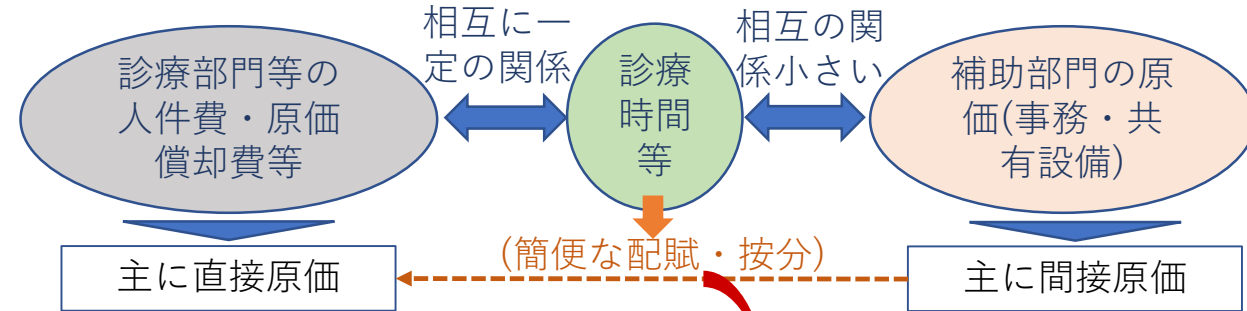
通常の診療報酬と固定費用の関係



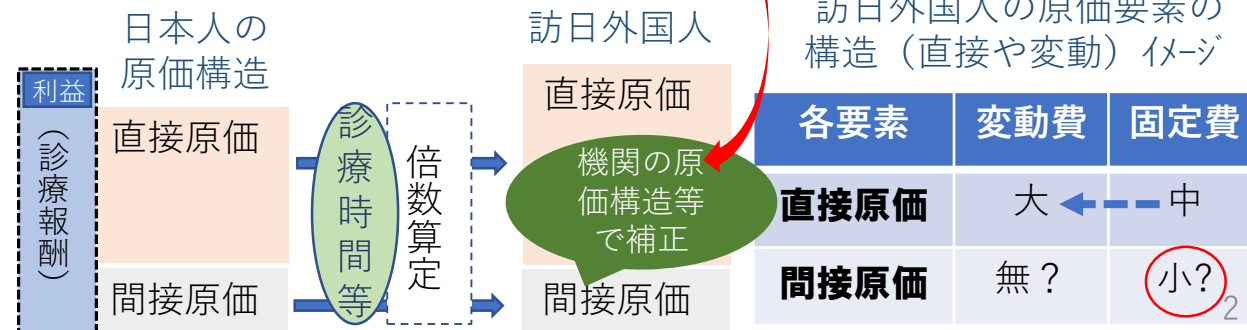
訪日外国人の場合



診療時間等と原価要素の関係



倍数算定と間接原価の関係



(出典) 田倉智之. 日本臨床内科医会. 2011 黒沢清編. 日本経営出版会. 1967 等より